

CLILの 理論と実践

ヨーロッパから日本へ発展する新しい学び

- **CLILの理論と実践**

笹島 茂 (東洋英和女学院大学 教授)

- **東北大学で行う留学生・日本人学生の
空手と文化合同授業について**

バリー・カヴァナ (東北大学高度教養教育・学生支援機構 講師)

- **グループディスカッション**

笹島 茂 / バリー・カヴァナ

日時

2017年 10月 16日 (月)
13:30 ~ 16:00

場所

東北大学川内北キャンパス
教育・学生総合支援センター東棟
4階 大会議室

EUの教育政策として導入されたCLIL(Content and Language Integrated Learning)は、ヨーロッパでは統合学習(Integrated learning)の一つとして定着したと言えます。学習内容と言語を統合して学ぶ学習形態は、北欧を中心に始まりスペインなど多くの国でカリキュラムとして多様に展開されるようになってきました。

理論はシンプルですが実践は複雑であり、CLILは多様性と柔軟性にその特徴を示しています。代表的な原理は4Cs(Content, Cognition, Communication, Culture)ですが、実践では必ずしもそれにこだわってはいらなくても構いません。日本への導入は2010年を過ぎてからで、まだ歴史が浅く、現在発展途上にあります。CLILは統合学習であり教育ですが、「こうしなければならない」というものではありません。大切なことは、CLILの教育理念と教師と学習者の創意工夫であり、学びを活性化する言語(英語)学習です。このワークショップでは、CLILの理論と東北大学で現在行われている実践的な英語スキルの向上を目指すクラスについて紹介します。グループディスカッションを通じてCLILの可能性について考えてみませんか。

参加申込み方法 HPの「イベント申込み」から申込みいただけます。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>

東北大学高度教養教育・学生支援機構

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、ihe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp までお申込みください。

東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター
TEL.022-795-4471 Fax.022-795-4749
Email. ihe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp

主催

東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター / 言語・文化教育センター